

## 2. 配置計画

### 2-1 土地利用計画

市民が利用しやすく、効率的な計画敷地の利活用を図るため、切川バイパスに接する東側敷地に来館者用駐車場を集約して配置し、頭無川を挟んだ西側敷地に市民会館、給食センター、エネルギー棟を集約して配置した明快でわかりやすいゾーニング計画とする。切川バイパス東側の飛び地の敷地は、来館者多数の催事開催時の臨時駐車場、大型バスの待機駐車場として利活用する。

### 2-2 建物配置計画

ホールの機能を備えた市民会館の建物は切川バイパスから離れた西側敷地に、さらに安来道路からも離れた北西側に配置し、ホールへの騒音の影響が最少ない位置に計画する。また、田んぼが多く、他の建物も低層という周辺状況より、市民会館の大きなボリュームをメインの道路側（切川バイパス・安来道路）から離して配置することで建物の圧迫感が軽減される。この配置計画より、市街地側からのランドマークとしての視認性及び静寂性を確保する。

安来道路・切川バイパスへアクセスのしやすい敷地南西側に給食センターを配置する。

### 2-3 駐車場計画

1000人程度収容の大ホールの集客数より、収容人数の約半数の513台を最大利用時の客用駐車場として確保し、施設裏手に演者用駐車場を20台確保、合計533台を敷地内で確保する計画とした。

メインとなる東側敷地には368台を設置する。うち55台は調整池を利用した臨時駐車場とし、来館者が多くなる場合に開放する。市民会館エントランスに近い駐車ブロックには歩道を設け、安全に配慮した。

市民会館までの距離も近い西側敷地には給食センター側に84台設置し、市民会館に一番近い位置に、車椅子利用者も乗降しやすい広いスペースを確保した思いやり駐車場を6台設置する。また、切川バイパスを挟んだ東側の敷地には61台を確保する。

### 2-4 動線計画（車両・来館者）

#### ■車両動線計画

東側のメインのアプローチに入り、頭無川を渡る橋を兼ねたロータリー状の車寄せを設け、大型バス等の一時的な乗降スペースとし、一般の車両との混雑を避ける。

ロータリーを経由して敷地北側に駐車専用の出口を設け、催事終了後の混雑を避ける計画とする。職員用車両、物品・器材等の搬入車両は西側から来館者動線と明快に分離した動線計画とする。

#### ■来館者動線計画

切川バイパスからのアクセスを来館者車両の主要アプローチ動線とし、正面に市民会館を配置することで、市民会館にわかりやすく誘導する計画とする。駐輪場は市民会館北側に設置し、駐車場利用者との動線の交錯を避ける。

演者用の駐車場は敷地の西側に設け、また、楽屋出入口も西側に個別に設けることで、建物外においても一般の来館者と顔を合わせることがないように計画する。

